

第2回 学生アドバイザー委員会 報告書

学生アドバイザー委員会－2

フリガナ 氏 名		4桁の学生番号 例:221F	
所属研究科・専攻		学年	
研究室所在地		Eメールアドレス	
研究科指導教員		研究科指導教員の所属	
所属研究室での 専門研究課題名			

各年次の第2回アドバイザー委員会の主な目的は「習熟度・能力の評価」です。評価には書類作成能力も含まれます。1年次はPre-QE、3年次はR-QEの審査の一部に該当します。報告書は、研究や活動の内容を、専門分野以外の人にも伝わり、アピールできるように作成してください。また、**2年次以上の学生は、前回までに受けたコメントに基づいた改善**を心がけてください。

所属研究室で行う専門研究の目的・計画・現在までの進捗状況

本欄には、所属研究科で行う専門研究について、全体構想及びその中での具体的な目的や計画と、現在までの進捗状況について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ図表を必ず用いて枠内に収まるように記述してください（フォント等は自由だが、枠を変更してはならない）。特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 研究の学術的背景（関連する研究動向及び位置づけ等）と博士課程の間に達成する具体的な目的（何をどこまで達成するか）
- ② 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び最終的に予想される結果と意義
- ③ 具体的な研究計画・方法と、その中での具体的な工夫（効果的に進める上でのアイデア、研究協力者からの支援等）
- ④ これまで既に得られた結果（または進捗状況）と、その重要性（研究中での重要なステップをクリアした等）や学術的貢献

概要 ※専門研究の目的・計画・進捗状況等について、簡潔にまとめて記述してください（枠の大きさを変えないこと）。

本文

所属研究室で行う専門研究の目的・計画・現在までの進捗状況（つづき）

融合領域での活動（所属研究科で行う専門研究以外の活動）

本欄には、所属研究科で行う専門研究以外の活動について、枠内に収まるように記述してください。1・2年次の履修生は次の点のそれぞれに項目を設けて記述してください。3年次以上（およびRQEを受ける特別選抜の2年次）の履修生は、①のみを本ページに記し、その他②～⑤を次ページに記入してください。なお、フォントや図表の使用は自由だが、枠を変更してはならない。

- ① 進行中の融合研究について（タイトル、背景、目的、計画、自身の役割、進捗状況、予想される結果と意義、⑤との関係など）
または（まだ初めていない場合等）、融合研究の構想や、履修期間内での融合研究の予定、融合研究に向けての準備など
- ② プログラムが提供する講義や講義内のイベントで、学んだことや成長したこと（どのような講義で何を学び成長したか）
- ③ 任意参加のイベントや自発的に取り組んだ活動で、学んだことや成長したこと（どのような活動で何を学び成長したか）
- ④ プログラム修了時までの自分自身の目標や、プログラム修了後の自分の未来像
- ⑤ 現在考えている、融合による未来のイノベーションについて

融合領域での活動（所属研究科で行う専門研究以外の活動）（つづき）

その他活動 プログラムの修了にむけて備えるべき能力（英語能力）や実施すべき活動（インターンシップ等）があります。これらの達成には長期的視野に立った自身の計画が必要であることから、現状について報告してください。 ※プログラムの修了要件として、TOEIC 730 点以上の英語能力、インターンシップ科目(国内/海外・長期/短期、またはヒューマンウェア価値創造実践)の履修が必須です。	
最新の英語能力	TOEIC / IELTS / TOEFL 点 (年 月時点) ※いずれかに○もしくは該当以外を削除
	(TOEIC730 未満の場合) 英語力向上への取り組み状況・計画
	Empty space for plan
インターンシップ科目 状況	(履修済科目) 国内短期 / 国内長期 / 海外短期 / 海外長期 / 価値創造実践 未履修 ※いずれかに○もしくは該当以外を削除
	(未履修の場合) 科目履修に向けた進捗・計画
	Empty space for plan